

2023年3月期 決算説明資料

名古屋鉄道株式会社

2023年5月11日

連結損益計算書

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2022年度	2021年度	増減	(対前期)	11月公表値	増減
営業収益	551,504	490,919	60,584 (12.3)	レジャー・サービス +33,476 交通 +16,737 不動産 +7,279 その他 +3,509 運送 +2,231 航空関連サービス +2,214 流通 +1,611	547,000	4,504 (0.8)
営業利益	22,731	2,932	19,798 (675.1)	交通 +9,574 レジャー・サービス +8,010 不動産 +2,745 その他 +648 運送 +312 流通 △420 航空関連サービス △107	21,000	1,731 (8.2)
経常利益	26,362	13,135	13,227 (100.7)	営業外収益 △6,454 営業外費用 +116	22,000	4,362 (19.8)
特別利益	9,140	28,480	△ 19,340	工事負担金等受入額 △18,714 投資有価証券売却益 △1,353	6,900	2,240
特別損失	6,868	25,546	△ 18,677	工事負担金等圧縮額 △18,407	4,300	2,568
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,850	9,370	9,479 (101.2)		16,000	2,850 (17.8)

営業収益 : 【増収】 レジャー・サービス事業や交通事業の需要回復に加え、不動産事業における分譲マンションの引渡戸数増加による増収。

営業利益 : 【増益】 燃料費は増加したものの、交通事業やレジャー・サービス事業の収支改善により増益。

経常利益 : 【増益】 営業外損益は悪化したものの、営業増益により増益。

親会社株主に帰属する
当期純利益 : 【増益】 経常増益により増益。

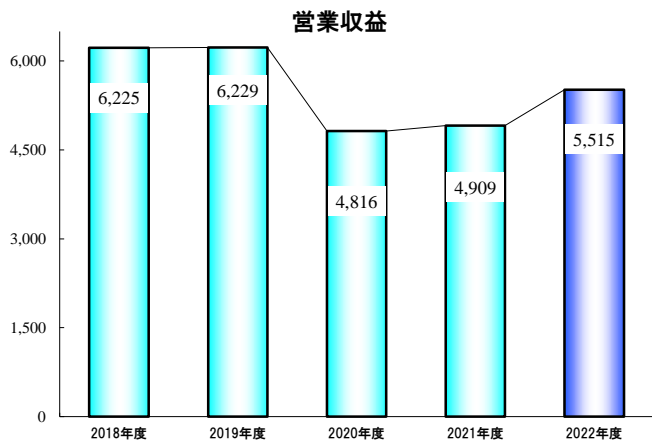
《連結子会社数》 : 107社 (増加 4社) 名鉄ワールドトランスポート (新規設立)、名鉄グループバスホールディングス (新規設立)
オンセブンデイズ (新規加入)、名鉄未来クリエイツ (新規設立)
(減少 6社) 名鉄西部交通西部 (被合併)、名鉄西部交通北部 (被合併)、三重名鉄タクシー (株式譲渡)
名鉄環境造園 (被合併)、名鉄木材防腐 (被合併)、名鉄薬品 (株式譲渡)

《持分法適用会社数》 : 13社 (増減なし)

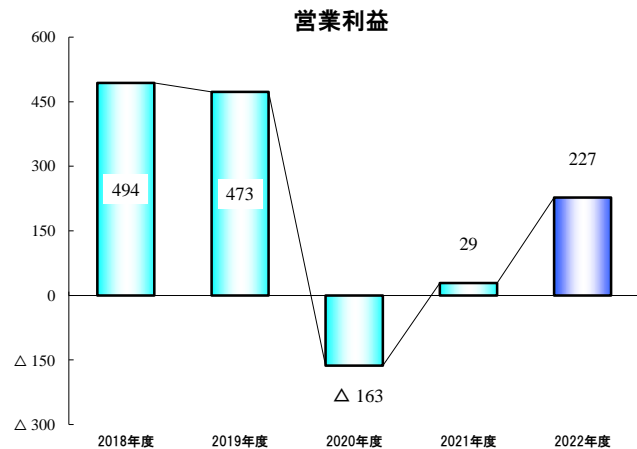


連結業績の推移

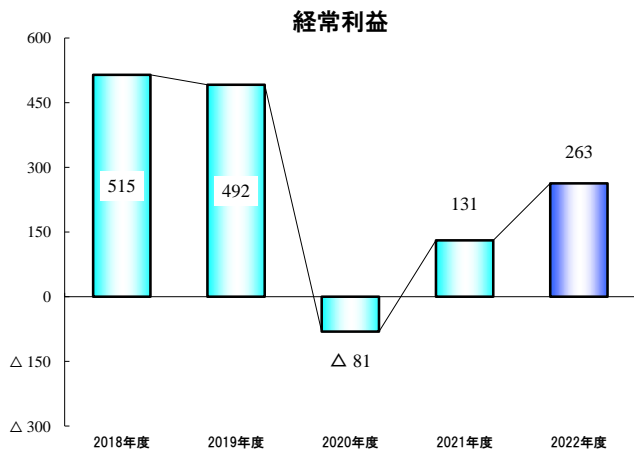
(単位:億円)



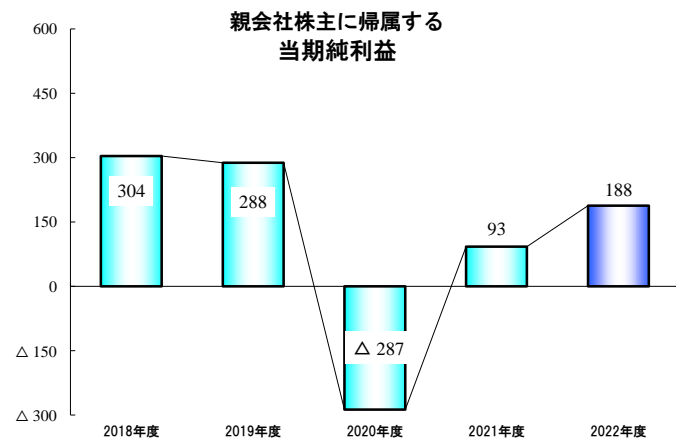
2期連続増収



2期連続黒字



2期連続黒字



2期連続黒字



セグメント別営業成績

(単位:百万円、%)

営業収益	2022年度	2021年度	増減額	増減率	コメント
交通事業	132,483	115,745	16,737	14.5	新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、各事業の輸送人員が回復したことにより増収
運送事業	136,998	134,766	2,231	1.7	海運事業における旅客需要の回復などにより増収
不動産事業	96,696	89,416	7,279	8.1	分譲マンション販売の引渡戸数の増加に加え、不動産ファンドからの配当収入の計上もあり増収
レジャー・サービス事業	81,049	47,572	33,476	70.4	新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴う観光需要の回復に加え、全国旅行支援の効果もあり増収
流通事業	66,263	64,652	1,611	2.5	百貨店業の増収に加え、小売事業で連結加入会社もあり増収
航空関連サービス事業	25,578	23,364	2,214	9.5	航空整備事業の受注増加や機内食事業における需要回復により増収
その他の事業	50,070	46,560	3,509	7.5	設備工事やシステム関連の受注増加により増収
調整額	△ 37,636	△ 31,159	△ 6,476	—	
合計	551,504	490,919	60,584	12.3	

営業利益	2022年度	2021年度	増減額	増減率	コメント
交通事業	4,614	△ 4,960	9,574	—	燃料費の増加があったものの、増収により黒字化
運送事業	3,398	3,086	312	10.1	トラック事業は人件費や燃料費の増加などにより減益となったものの、海運事業の増収により全体では増益
不動産事業	13,830	11,085	2,745	24.8	増収による増益
レジャー・サービス事業	△ 375	△ 8,385	8,010	—	増収により各事業で収支改善し、赤字幅縮小
流通事業	△ 2,475	△ 2,054	△ 420	—	百貨店業では収支改善したものの、輸入車販売業の減益などにより全体では赤字幅拡大
航空関連サービス事業	1,346	1,453	△ 107	△ 7.4	増収であったものの、人件費や減価償却費の増加などにより減益
その他の事業	2,619	1,971	648	32.9	増収による増益
調整額	△ 227	736	△ 963	—	
合計	22,731	2,932	19,798	675.1	

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年度末	前期末	増減額	コメント
流動資産	226,902	211,596	15,305	分譲土地建物の増加
固定資産	1,004,476	975,301	29,175	
有形固定資産	854,026	825,163	28,862	設備投資による増加
無形固定資産	11,853	11,099	753	
投資その他の資産	138,596	139,037	△ 441	
資産合計	1,231,378	1,186,897	44,481	
流動負債	304,067	264,512	39,555	1年内償還社債の増加 コマーシャル・ペーパーの償還 前受金の増加
固定負債	498,221	511,253	△ 13,031	1年内償還社債への振替 社債の発行
負債合計	802,289	775,765	26,524	
純資産合計	429,089	411,132	17,956	株主資本 +16,784 親会社株主に帰属する当期純利益 +18,850 剰余金の配当 △2,458
負債純資産合計	1,231,378	1,186,897	44,481	
連結有利子負債合計	496,458	489,027	7,430	〔参考〕純有利子負債残高 441,167 (前期末比 +3,066)

個別業績

◆個別損益計算書◆

() は増減率 (単位：百万円、%)

	2022年度	2021年度	増減	(対前期)	11月公表値	増減
営業収益	90,332	85,225	5,107 (6.0)	鉄軌道事業 +9,576 開発事業 △4,468	91,000	△ 667
営業利益	6,841	4,627	2,214 (47.9)		6,000	841
経常利益	8,475	5,980	2,494 (41.7)	営業外収益 +944 営業外費用 +664	7,200	1,275
当期純利益	7,270	4,696	2,573 (54.8)	特別利益 △22,452 特別損失 △24,950	7,500	△ 229

◆名鉄 運輸成績◆

(単位：千人、%)

輸送人員	2022年度	2021年度	増減率
定期外	106,575	86,207	23.6
定期	234,483	228,593	2.6
計	341,058	314,800	8.3

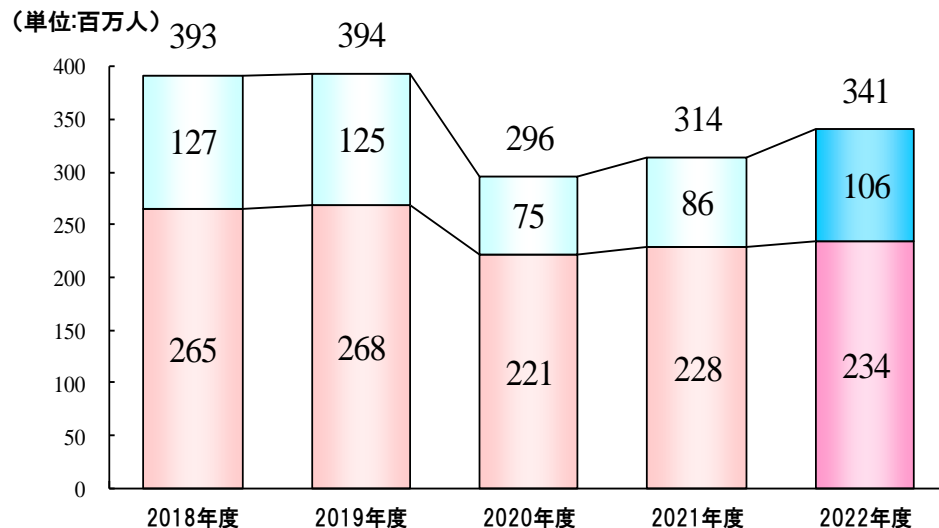
(単位：百万円、%)

旅客収入	2022年度	2021年度	増減率
定期外	40,791	31,806	28.2
定期	34,226	33,528	2.1
計	75,017	65,334	14.8

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

◆輸送人員の推移◆

□定期 □定期外



2024年3月期 連結業績予想

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2023年度 予想	2022年度	増減	(対前期)
営業収益	588,000	551,504	36,496 (6.6)	交通 +11,517 レジャー・サービス +8,651 不動産 +7,204 運送 +5,002 流通 +2,637 その他 +2,130 航空関連サービス +822
営業利益	26,500	22,731	3,769 (16.6)	交通 +3,386 レジャー・サービス +1,875 流通 +875 運送 +302 不動産 △2,530 航空関連サービス △146 その他 △119
経常利益	27,500	26,362	1,138 (4.3)	営業外収益 △2,394 営業外費用 +238
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,000	18,850	2,150 (11.4)	特別利益 △6,240 特別損失 △4,468
E B I T D A	66,400	60,978	5,422 (8.9)	※EBITDA：営業利益+減価償却費
設備投資額	86,600	62,351	24,249 (38.9)	
減価償却費	39,900	38,247	1,653 (4.3)	
純有利子負債	475,000	441,167	33,833 (7.7)	※純有利子負債：有利子負債－現預金・短期有価証券

2023年度予想は、ウィズコロナのもとで国内の経済活動への影響は逡減し、新常态が継続するとの仮定で集計。営業収益は、交通事業やレジャー・サービス事業を中心に全事業で増収。また、営業利益は、燃料費の増加を見込むものの、交通事業やレジャー・サービス事業の回復を主因に増益。経常利益は、各種助成金の減少による営業外損益の悪化を見込むものの、営業増益により増益。最終利益も特別損益の悪化を見込むものの、法人税等の減少もあり増益となる見通し。

2024年3月期 個別業績予想

()は増減率

(単位：百万円、%)

	2023年度 予想	2022年度	増減	コメント
営業収益	95,400	90,332	5,067 (5.6)	鉄軌道事業の増収
営業利益	7,300	6,841	458 (6.7)	増収により増益
経常利益	8,900	8,475	424 (5.0)	営業損益の増益により増益
当期純利益	8,000	7,270	729 (10.0)	経常損益の増益により増益

◆ 1株当たり配当金 ◆

(単位：円)

	2024年3月期 (予想)	2023年3月期
配当金額	25.00	20.00





業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。